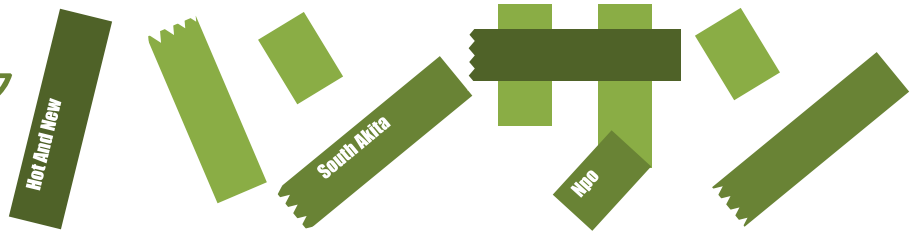


県南のNPOを情報でつなく、ささえる。

# 秋田県ボランティア NPO 活動ニュース

「県南版」



# 11

November 2020

Vol.156



(湯沢市院内地区)



(横手市山内地区)

## 今月の表紙

### 「秋田県コミュニティ生活圏形成事業 住民ワークショップ」

人口減少や少子高齢化が急速に進行している中で、集落における日常生活に必要なサービス機能を維持・確保していくため、秋田県では、複数の集落による新たな生活圏である「コミュニティ生活圏」の形成を図る取組を推進しています。昨年度よりモデル地区を設置して取り組みが行われており、10月19日に横手市山内公民館にて、11月1日には湯沢市院内地区センターにて地域住民参加でのワークショップが開催されました。引き続き人口減少や高齢化などが進む中での、住民が主体となった地域づくりについて検討される予定です。(八嶋 英樹)

### 《11月号目次》

P2 ……活動ウォッチング  
よこて園芸療法の会『庭じかん』

P3 ……がんばる地域応援隊  
んだなあ～塾(横手市山内)

P4 ……秋田県南 NPO センターより  
NPOの世代交代を考える ～何を受け継ぎ、何を变えるのか～  
「NPO事業継承サミット 2020」開催レポート ver.1



# 活動ウォッチング

THEME\_ボランティア/NPO

植物を育てることで癒やしを得て心や体の健康につなげる『園芸療法』

## DATA 団体情報

よこて園芸療法の会『庭じかん』(横手市)

代表/浅利 政子さん

設立/2017年

会員/20~80代の男女20人

連絡先/080-1811-3135(庭じかん)

よこて園芸療法の会『庭じかん』では園芸療法によって、植物を育てることで高齢者に生きがいを感じてもらおう活動を行っています。今年度はベゴニアやパチュニアなどを寄せ植えしたプランターを高齢者延べ50人に無料で配布しました。配布後は会員が月1回訪問し、世間話や体調の相談などを行い、見守りや会話の機会となりました。花の寄せ植え作業は会員のほか、市民や就労体験の障がい者も加わって行われています。



昨年までは、7月~10月に月1回、横手市四日町にあるポケットパークにハンギングバスケットやプランターで飾ることで、人々がくつろげるようなカフェにしていたのですが、令和2年度は新型コロナウイルスの拡大防止を考慮して開催が控えられ、代わりに10月25日(日)に「ちょこっと感謝祭」が行われました。



## ◆◆ちょこっと感謝祭◆◆

日時:2020年10月25日 8:30~11:30

会場:横手市四日町ポケットパーク

※ちょこっと癒しの時間

9:00~9:45 「ハーモニカの調べ」

ハーモニカ同好会の皆さん



9:50~10:20 「怒らない体操」

アンガーマネジメント佐藤マサルさん



10:30~11:30 「ギターと歌」

ごやさん



# がんばる地域応援隊

## Vol.4 んだなあ～塾(横手市山内)

来てみない 食べてみない 住んでみない「さんない」



### ●「んだなあ～塾」代表 永沢 豊さん(45)●

「んだなあ～塾」は、平成27年から3年間行われた山内地域づくり協議会の人材養成講座の名称でしたが、講座終了後も参加者が活動を共にする際の団体名として定着したものです。

メンバーの構成は30代から60代の男女15人。これまで山内地区の自慢できるものを持ち寄った住民目線でのプロモーション動画の作成や、地域と切っても切れない存在である「軽トラ(軽トラック)」をフィーチャーした「軽トラ de のど自慢 in さんない」を平成30年から道の駅さんないで開催してきました。開催3年目の今年は新型コロナウイルスの拡大防止のため、残念ながらのど自慢は中止としましたが、10月11日(土)には「いものこ収穫祭 in 道の駅さんない」への協力団体として、設営やイベントの運営を手伝いました。

これからも地元への愛があふれた方々をどんどん巻き込んで山内地区のプロモーションやイベントの開催・協力など、いろんな個性が活躍できる場の提供をしていきたいと思えます。

また、やってみたい企画がある方や、一緒に活動してくれる仲間も常に募集しております。横手市山内に住んでいなくても大歓迎です。子どもからお年寄りまで交流できる機会をたくさん作っていきましょう。10年20年経っても、地域全体が明るく楽しく、住民一人一人の笑顔が輝いていますように。

### 「んだなあ～塾」について

- 設立: 平成27年4月1日
- 人数: 15名
- 活動拠点: 横手市山内地域  
(事務局)横手市山内土淵二瀬8-4  
横手市山内地域局内  
(TEL 0182-53-2111)
- これまでの主な活動
  - ・山内地域 PR 動画「豊かなるさんない」作成(平成29年3月)
  - ・「軽トラ de のど自慢 in さんない」開催(平成30年～)
  - ・「いものこ収穫祭 in 道の駅さんない」に協力(令和2年10月11日) 他



(編集 八嶋英樹)



PR 動画「豊かなるさんない」  
YouTube QR コード



「んだなあ～塾」  
Facebook アカウント QR コード

## NPOの世代交代を考える ～何を受け継ぎ、何を変えるのか～ 「NPO事業継承サミット 2020」開催レポート ver.1

7月に当法人が実施したアンケート調査によると、35団体のうち24団体が「後継者の育成や世代交代が課題」「役員、会員が高齢になった」と答えています。内閣府の調査では、約6割のNPO法人が「代表者が65歳以上(58.8%)」、「代表者が創業時の代表のまま(57.1%)」であり、世代交代が進まない要因として「適切な候補者がいない(50.6%)」、「余裕がない(20.3%)」と考えていることが分かりました。今、NPOセクターにとって、活動をどのように継続させていくかが全国的な課題となっています。

そこで11、12月号の『ハンサン』では、10月5日に開催された「NPO事業継承サミット2020」(主催：NPO法人NPOサポートセンター)について、ご紹介します。世代交代を行ったNPOサポートセンター前代表の山岸秀雄さんと現代表の松本祐一さんによる対談から、事業継承のヒントを探ります。(奥ちひろ)

### ■ 団体のこれまで

(以下、敬称略)

**山岸** 社会が大きく揺れていた32年前、調査団として訪問したアメリカでNPOと出会いました。日本にもNPOを普及させ、これで成熟した市民社会を作る土台にするのだと奮闘してきました。NPOサポートセンターを設立したのは1993年のことでした。

**松本** NPOサポートセンターとの関わりは2012年頃、事業の講師を担当し始めたのが最初です。同年には理事に就任し、たまに事務所を訪れてスタッフと意見交換するような関わりをしていました。変化が起きたのは2013年頃。当時、当法人の事業構造は省庁や自治体からの委託事業が中心でしたが、2013年に委託事業が減少し、大幅な赤字に

なりました。そこで、事業モデルの転換を考え始め、私がコンサル的に関わりながらスタッフ合宿で課題や今後の方向性を話し合いました。現在に至るまで、2か月に1回は戦略ミーティングを継続しています。コストダウンにより2014年に黒字化。2015年には事務局長も若手と交代し、事業面では研修事業や企業と組んだ事業等、様々な自主事業にチャレンジしてきました。自治体の協働プログラムをどう作るか、どう政策に反映できるかという相談も増え、自治体にコンサル的に支援することも増えていきました。2017年には事務所を移転し、シェアオフィス事業を開始する等、自主事業中心の事業構造に変わっていきました。2018年には理事会も世代交代をしようと人選を始め、2019年、代表と理事会の交代に至りました。

### ■ 「事業継承」はただの世代交代ではない

**松本** 「事業承継」には、NPO自体の方向性をどうするかという「メンタルモデルチェンジ」と、事業構造を変える「ビジネスモデルチェンジ」が不可欠です。

「メンタルモデルチェンジ」では存在意義、ミッションを捉え直し、新しいビジョンと活動による成果の再設定を行い、経営方針、フィロソフィーを見直していく必要があります。

「ビジネスモデルチェンジ」は、事業を回して経営として成り立たせ、持続可能性の確保することです。そのためには、既存の事業を見直したり、業務プロセスを見直したり、新規事業を検討したりする必要があります。

一前代表、代表、スタッフは、事業継承をどう捉えてきたのか…。気になる詳細は来月号でご紹介します。

秋田県ボランティア・NPO活動ニュース県南版

**ハンサン**

2020年11月10日発行  
11月号 VOL.156

発行：秋田県あきた未来創造部地域づくり推進課

〒010-8570 秋田市山王四丁目1-1 TEL.018-860-1245

編集：特定非営利活動法人秋田県南NPOセンター (南部市民活動サポートセンター)

〒013-0046 横手市神明町1-9

TEL.0182-33-7002 FAX.0182-33-7038

南部市民活動サポートセンター

【相談受付】月・火・水・金 9:00~18:00  
土・日 9:00~17:00

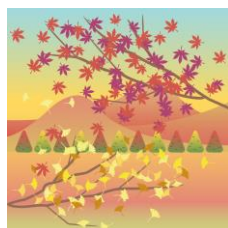
【休館日】木曜日・年末年始(12/29~1/3)

〒013-0046 横手市神明1-9

TEL.0182-33-7002 FAX.0182-33-7038

E-mail:ssc7002@luck.ocn.ne.jp

http://www.akita-kenmin.jp/



編集スタッフの  
つぶやき

VOL.07

協働推進事業担当  
今 拓也

この頃、日が暮れるのが早く“秋の夜長”を実感しています。いろいろな夜長の過ごし方があります。私は、夜にオンラインシステム(Zoom等)を使ったセミナーや意見交換会に参加することが多くなっています。コロナ禍で急速に広まりましたが、東京などに出かけて行かないと出席できなかったものも秋田に居ながらオンラインで参加できるようになりました。広い秋田県内の関係者との意見集約にも有効でした。こういったシステムをこの難局の先でもうまく使っていくことを皆さんと考えていきたいと思っています。